

「農泊インバウンド受入促進重点地域」について

- 農泊地域へのインバウンドの受入を促進し、地方誘客と地方消費をより一層促すことが重要となっているところ。そのためには、農泊の魅力を発信する海外向けのプロモーションと、ソフト・ハード両面での受入環境整備が課題。
- 農泊地域の年間延べ宿泊者数に占める「訪日外国人旅行者の割合を10%」とする目標の達成に向け、「農泊インバウンド受入促進重点地域」を40地域程度選定し、農林水産省及び関係機関と連携して支援することを通じて農泊地域へのインバウンド誘客体制を抜本的に強化する。

農泊地域へのインバウンド受入促進に向けた課題

□ 農泊地域におけるインバウンド受入環境整備

- ・ 必要な知見の不足
- ・ 訪日外国人に対応できる人材の不足
- ・ Wi-Fi設備や洋式トイレ等のハード面での整備の不足 等

□ ターゲットに向けたプロモーション

- ・ ターゲットに対応した適切な媒体・手法による宣伝ノウハウの不足
- ・ 在外旅行業者等とのコネクションの不足
- ・ 農山漁村への訪問を希望する旅行者とのマッチングの機会の不足 等

**農泊インバウンド
受入促進重点地域
(40地域程度)**

共有 ↓ ↑ 参照

その他の農泊地域

農林水産省として農泊インバウンド受入促進重点地域を選定し、関連機関と連携して、重点地域に対し、

- ① 農山漁村振興交付金（農泊推進型）による追加的な受入体制整備を優先支援
 - ② 海外旅行会社等との商談会やモニターツアー等の設定や、海外向けプロモーション
 - ③ 観光庁「地域観光新発見事業」について、重点地域を勘案して採択
 - ④ JNTOによる海外向けプロモーション
- 等の支援を実施。

農山漁村地域への更なるインバウンドの受入実現へ